

1. 神戸シルバー大学院は20歳を迎えました

神戸シルバー大学院 学長 保田 茂

さらに学んで次世代のために！こんなモットーを掲げて神戸シルバー大学院（SGS）は設立されました。2003年4月のことです。今年で丁度20歳を迎えます。人間でいえば、立派な大人になったこととなります。神戸市シルバーカレッジ（KSC）を卒業した7期生の方々が中心になって設立された高齢者の、高齢者による、高齢者のための学び舎です。10年前、当初の歴史をとりまとめた10周年記念誌を発行していただきました。あれからはや10年が経ちました。先ず申し上げたいことは、20年も良く続いたということです。各地には高齢者大学が沢山ありますが、ほとんどは、県や市町の社会教育・生涯教育の一環として開催されています。プログラムは行政の担当者が作成し、受講生はいわばお客さんです。しかし、神戸シルバー大学院は公的な支援を一切受けることなく、運営責任を受け持つ理事は、毎年、春に開催される総会で選出され、経費も含めて、すべての業務を自分たちで分担し、運営してこられました。まさに自分たちの、自分たちによる、自分たちの学び舎です。こんな自主的に運営される高齢者の学び舎が、20年も続いた例は他にないかと思えます。この間、毎月2回の講義日と自主研究日に、主として県民会館に集まり、学びを続け、前期3年、後期3年、専科2年のコースを選択しながら、年1回の研究発表会で自主研究の内容を世に問い、卒業時には立派な卒業研究論文にまとめて提出していただきました。20年目の提出論文数は58報を数えます。まさに20歳の成果です。この論文集も、長く書庫に並ぶだけでしたが、この度、パソコン操作の達者なメンバーのお力で、すべての論文をホームページで読むことが出来るようにして頂きました。有難いことです。立派な論文も沢山あります。先ずは現役の皆様が先輩たちの研究課題と問題意識を学び、自分たちの研究に活かして頂きたいと思えます。こんな立派な財産を生かすことが出来るようになったのも、20歳の成果かと思えます。神戸シルバー大学院の研究成果は論文にまとめるだけではなく、たとえば兵庫自治学会のような専門学会で発表し、特別賞を受賞するなどの社会的評価を得る努力もなされています。また、いろいろな自主研究グループがそのまま世に出て、立派な社会活動を継続するなど、大きな成果を上げて下さっています。神戸シルバー大学院の学びの20年は、皆様の大いなるご努力によって、社会的に立派な成果を上げて下さっていると総括できると自負しています。2022年現在、日本の高齢化率は29.1%、2030年には31.2%。認知症患者数は2020年で602万人、2030年には830万人に増えると予想されています。高齢者が元気澁刺と暮らす実力を身に着けねば、次世代は高齢者に押しつぶされ、暮らしが成り立たなくなる恐れがあります。神戸シルバー大学院の20年の実践は、今後の高齢者の生き方の先進事例になることは間違いありません。元気に家を出て講義を聞き、本を読んで思索を深め、仲間と課題を分担して論議し、調査旅行でさらに見聞を広め、論文をまとめるのに知恵を絞り、社会問題の改善策を提案し、論文を完成して仲間と酒を交わす。こんな暮らしこそが、いつまでも頭脳明晰、意欲満々、元気澁刺の暮らしを可能にするのではないのでしょうか。まだまだ、次世代のために、神戸シルバー大学院の挑戦は続けてもらわねばなりません。

保田 茂学長のプロフィール

NPO法人兵庫農漁村社会研究所 理事長

神戸大学名誉教授

1939年兵庫県生まれ、兵庫県神戸市在住

最終学歴：大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了 農学博士（京都大学）

- ・神戸大学農学部及び神戸大学大学院農学研究科の教員として、有機農業の理論構築や生産者と消費者を結ぶ提携手法などを研究。有機農業研究の第一人者。
- ・1973年に「兵庫県有機農業研究会」、1974年に「食品公害を追放し、安全な食べ物を求める会」を自ら設立。
- ・有機JAS認証制度に伴う国の委員会の部会長として、有機JAS制度づくりやその普及に尽力
- ・1980年代から兵庫県農政に深く関わり、1992年から「兵庫県環境創造型農業推進委員会委員長」として、有機農業を頂点とする環境創造型農業の施策立案や推進を指導。
- ・1997年から「おいしいごはんを食べよう県民運動」に参画し、県内各地の保育園・幼稚園や小学校で「かまどごはん塾」を実施。現在は「おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会会長」としてお米やごはん食の重要性を啓発。
- ・1999年に「日本有機農業学会」を設立し、初代会長に就任。有機農業研究の学術的地位の確立を図る。
- ・2002年から、「コウノトリ野生復帰連絡推進協議会会長」としてコウノトリの野生復帰を推進。
- ・現在は、NPO法人兵庫農漁村社会研究所理事長として地域農業の活性化等に関する研究と活動に従事。なかでも、県内各地で有機農業教室やごはん塾を実施し、有機農業や食育の推進に精力的に取り組む。
- ・主な現役職

ひょうごの食研究会会長

おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会会長

コープともしびボランティア振興財団理事

おおや有機農業の学校長

神戸シルバー大学院学長

・受賞歴

2015年	兵庫県社会賞	兵庫県
2018年	感謝状	兵庫県農業協同組合中央会
2019年	感謝状	兵庫県養父市
2022年	兵庫県功労者表彰（県勢高揚功労）	兵庫県

・主な著書

著書：日本の有機農業（ダイヤモンド社）

有機農業の到達点（スペースゆい）

監訳：農業聖典（アルバート・ハワード著・コモンズ）

共著：エシカルな農業（誠文堂新光社）

2022年5月18日兵庫県功績者表

